

あおぞら21



熊本地震からの復旧・復興に係る支援の
意見書～全会一致で可決～(8月会議) 2
議会報告会開催(7月22日) 4

表紙：多彩な余興でにぎわう木倉校区敬老会(9月10日)

8月定例会

29年9月29日

No.120

熊本・みふね町議会

熊本地震からの復旧・復興に係る支援の 意見書～全会一致で可決～

8月会議を10日開催した。専決4件、工事請負契約3件、また議員発議で復旧・復興に係る特別な支援を求める意見書を審議採決した。

なお、可決した意見書については、大島理森衆議院議長他、関係省庁に送付しました。

8月会議で決まったこと（8月10日）

議案 号数	簡易議案名	概 要	質疑・討論 の有無	採決 結果
報告 5	専決処分の報告について	台風被害による一般会計、緑の村特別会計の補正予算	有	報告
報告 6	専決処分の報告について	損害賠償額の決定	無	報告
報告 7	専決処分の報告について	損害賠償額の決定	有	報告
議案 16	工事請負契約の締結について	町道下鶴・遠山線道路災害復旧工事	有	全会一致で 可決
議案 17	工事請負契約の締結について	普通河川藤木川河川災害復旧工事	無	全会一致で 可決
議案 18	工事請負契約の締結について	小坂小学校普通教室等改築及び校舎災害復旧工事	無	全会一致で 可決
発議 1	平成28年熊本地震及び平成28年梅雨前線豪雨からの復旧・復興に係る特別な支援を求める意見書の提出について	地方自治法99条の規定に基づき、国へ提出する意見書の採択	無	全会一致で 可決

給食センター 排水管損傷で給食を作れず

田上議員 給食センターの排水管損傷による影響はどうだったのか。

坂本朋子学校教育課長 7月7日の給食を作ることができなかった。代用品で賄った。

田上議員 給食センターが機能しなかったことの報告は議会にはしないのか。

坂本課長 家庭に対してはすぐに連絡をしたが、議会には失礼した。

田上議員 その日は全議員が集まっていた。どうして報告しなかったのか。

本田教育長 議員が集まっていたことを把握していなかった。緊急事態で教育委員会が慌てていて、とにかく子どもたちにいかにして早く給食を届けたいか、県の学校給食会等々との連絡に追われてしまった。本当に申し訳なかった。これからは報告をしたい。

沖議員 今までにも教育長や

執行部に何かあったら報告するようにと議会は常々言ってきた。こういう問題は何回も起きている。反省がまったくない。

町道や広域農道で事故が多い、その対応は？

沖議員 軽易な事故が非常に多い。道路パトロールはどうなっているのか。

藤野農業振興課長 広域農道については、大雨や台風の後にはパトロールをやっている。

倒木等があれば処理する。また、路面に窪み等があれば、応急処理をすることになっている。定期的なパトロールというのはなかなかできない。

沖議員 マミコウロードは農振課が担当、町道の管理は建設課だと思うが、道路状況の把握はどのようにしているのか。

松岡建設課長 町道の維持管理は、定期的に大体月に1回ぐらいのパトロールを行っている。また、連休とか、お盆、正月には事前にパトロールを行って、路面の悪い部分は、随時指導を行っている。そのほか地域の方々や区長さんから報告を受けた時点で早急な対応をしている。

沖議員 事故等がここ数年多いように思う。もう少し地域と連絡をとりながら、道路の維持管理を十分注意してやってもらいたい。町長はどう考えるのか。

藤木町長 言われたとおり、今後改めて注意していく。

中城議員 事故については警察に届け出て、現場検証をして示談をしているのか。

松岡課長 ケースバイケースだが、物損等の場合は警察に届けるとか。事故証明が必要になるので、警察に事前に尋ねて町としても管理者として対応をしていく。また、全国市町村損害賠償により対応して、関係機関との連携をとりながら対応している。

中城議員 どうも明快な回答がいただけない。きちんと警察に届け出て、後は当然示談になるが、そういった手続きを取ったほうがよい。

松岡課長 最初勘違いをして

いた。警察等にはその都度届け出をした上で対応している。

沖議員 これらは損害保険対応なのか、それとも町の予算からの対応なのか。

吉本総務課長 総合賠償保障保険に加入しているので、事故の状況に応じて、相手方との負担割合を最終的には定め、それが示談のもととなる。結果として、町が100%悪いということはあまりない。走行中の注意不足等で、車両運転者にも課せられる、5対5、場合によって7対3とか6対4とかになる。町村会に弁護士がいて、最終的に片付かないような場合には弁護士にも介入してもらうこともある。そういうやりとりの中で示談をしている。

沖議員 そうであれば、次からは過失割合を明記していただきたい。

吉本課長 損害の負担割合については議決事項ではないが、町村会とも協議をし、個人情報に係る部分がある可能性もあるので、その辺を検討しながら今後やっていきたい。

沖議員 保険の割合も個人情報になるのか。

吉本課長 事故全体の被害金額が出てくるし、個人の支払う金額も出てくる。そういった観点から申し上げた。

岩田議員 マミコウロードは県が担当しているのか、町が担当しているのか。

藤野課長 広域農道については町が管理している。

岩田議員 今朝も草を切っていたが、ガードマンが配置さ

れていない。国道445号には必ずガードマンが付いている。ガードマンが必要だと思う。

藤野課長 除草作業は委託契約である。今後は委託業者を指導して、安全管理に努めたい。

岩永議員 先ほど総務課長は、役場の過失割合が100%になるということはあまりないと発言したが、例えば、御専第11号のマミコウロードにおける事故のケースでは過失割合はどのようになっているのか。

吉本課長 過失割合までは記憶していない。

岩永議員 そういうところをきちんと出していただかないと、私たちは議員としての務めが果たせない。こういう事故が起きた場合に示談交渉に当たる部署はどこか。

吉本課長 事故が起きた現場の担当課、主に町道の場合は建設課になるが、事故の報告が総務課に上がってくる。そして、総務課からその状況について、総合賠償保障保険の相手方が町村会と協議をする。担当課は総務課になる。

岩永議員 担当課は総務課ということはわかった。その後は総合賠償保険会社が直接相手方と交渉するということでしょうか。

吉本課長 そういうことになる。



マミコウロード（上野地内）

議会報告会開催

毎年開催している議会報告会を7月22日（土）に開催した。場所は役場大会議室（平坦）と上野保育園（山間）の2ヶ所。参加者は合計83人であった。

議会報告会での質問や答弁、その後の執行部回答については以下のとおり。



質問する参加者（平坦：大会議室）

■ 議会報告会（大会議室） A班（参加者38人）

	質疑内容	議会回答（当日）	執行部回答
1	農業被害はどうなっているか。	6月議会での農業被害の復旧状況は、10.2%。県の復旧状況は新聞に12%ぐらいとあった。	（農業振興課） ※7月末での復旧状況 災害査定件数609件のうち、8月18日現在91件の発注が済みであり、発注率は14.9%となっている。また、8月末には26件の発注を予定しており、早期復旧に向けて発注業務を進めている。
2	新潟県長岡市の視察はどうだったか。	当町と同じ直下型の地震。発災は10年以上前になり、制度を活用し、農業も復旧は出来ている。 また、財政状況も震災前に戻っているとのこと。	

	質疑内容	議会回答（当日）	執行部回答
3	議会で、町は復興できないとあったと聞いたが本当か。	議会では、そのような見解を述べたことはない。	
4	農業災害の申請を出したが、査定に漏れた箇所がある。どうなるのか。	査定にかかっていない農地もある。町の財源ですべきであり、自己負担も災害に併せた負担率ですべき。	（農業振興課） ※査定にもれた件数 現在、37ヶ所について調査を実施している。 ※査定にもれた理由 農地等についても甚大な被害を受け、被災箇所数が膨大であり、混乱の中で正確な被災確認ができなかった。また、現地に精通した者が調査測量時に立ち会うことができず、町、測量会社、申請者との意思疎通及び連携が取れていなかったことが原因だと思われる。 今後は、申請者の意向を聞きながら現地に適した災害復旧に取り組んでいきたい。
5	納税ミス、チェックをしっかりとやってほしい。行政不信につながるのではないか。	原因はシステムの変更を怠ったことによるもの。再発防止に向け、対処を行うとのことであり、議会としてもこういったことが起こらないよう苦言を呈した。	（総務課） ※再発防止に向けた取り組み ご指摘のとおりであり、チェック体制を強化する。全課に渡る事であり、全庁的に再発防止に取り組む。
6	嘱託区再編はどうなるのか。	現在、モデル地区もでき進行している。ただ、行政が強引に推し進めるだけでなく住民の理解も必要である。	（企画財政課） ※進行具合や今後について 現在、モデル地区を7地区指定し、水越地域において、「町・田畑・粒麦」「馬立・五ヶ瀬」「有水・大内」の再編を目指し、それぞれにまちづくり協議会を設置した。 今後、再編後の将来像を設定し、新嘱託区名、組織、役員、行事、財産、規約、会計などの細部にわたり協議を重ねていく。
7	田上議員の義援金問題についてどうなっているのか。	現在、進行中でもあり、議会で厳正に対処していく。 （時系列での説明や審査会の報告書で説明を行った。）	（議会事務局） ※現在の状況と今後の見通し 議会として、事実確認を行っている状況である。また、議会

	質疑内容	議会回答（当日）	執行部回答
7			広報紙（8月末発行）にも状況報告を行った。
8	一般質問の動画や議会日程など配信が更新されていない。どうなっているのか。	ご迷惑をおかけしている。業務を行っている事務局を厳しく監視し、指導していく。	（議会事務局） ※現在の状況と今後の見通し 大変ご迷惑をおかけしている。最新の情報を公開できるよう気をつけていく。 なお、動画配信については、システムの変更により配信できない状況であり、管理会社と検討中である。今しばらくお待ちいただきたい。
9	吉無田問題。景観条例など協議していたが、その後どうなったのか。	震災で検討する機会を奪われてしまった。 ただ、町・議会のなかでも開発させないことになっているのでそれに向かって進んでいきたい。	（企画財政課） ※現在の状況と今後の見通し 定期的に町・県ともに現地視察を行っている。景観条例等の協議については、別の法律も含め対応策を検討している。
10	（意見） 震災を理由にしないほしい。 議会みんなで団結して行動してほしい。		
11	町の災害対策本部に議会は入っていたのか。	入っていない。	
12	町民の代表なら災害対策本部に入るべきではないのか。視察などから議会はノウハウがあるはず。 スピード感をもってやってほしい。	全員協議会や特別委員会にて、報告を受け、協議をしていた。 町も議会も一緒になって復旧復興に取り組んでいることを理解してほしい。	
13	防災行政無線は設置されるのか。設置されるならいつごろか。	現在、防災行政無線の方式を検討中。平成30年度末を目安に設置される予定とのこと。	（総務課） ※事業内容や今後の予定 31年度4月の運用開始を目指し、現在、予算を確保し業者の選定作業中である。
14	中原団地はどのような状況か。	大規模盛土事業として秋ごろに発注し、工期は1年程度とのこと。 住宅も修理するとのこと。 まだ、時間を要すると思われる。	（建設課） ※事業内容や今後の予定 中原団地の大規模盛土造成地滑動崩落防止事業については実施設計が8月中に完了する。その後、9月以降には工事の発注を行い、平成29年度末までには事業を完了する予定である。

	質疑内容	議会回答（当日）	執行部回答
14			中原団地町営住宅災害復旧工事については、8月末の国査定に向けた準備を急いでいるところである。 なお、中原団地入居者への説明会の開催に向けても、庁内関係各課との協議を進めているところである。
15	（意見） 日本の政治をみて、議員とお金を問題はよくあっている。 議員はそのことを頭に入れ活動しなければならない。 倫理とはモラルであり、罰則は必要ない。 議員は人を正す立場なのだから、しっかり勉強してほしい。		
16	以前、防災行政無線は光ファイバーを活用するとのことだったがどうか。	光ファイバーは、防災行政無線として使えない。	（総務課） ※光ファイバーを活用した防災行政無線を検討しているかどうか。 有線ではなく、デジタル無線を利用した防災行政無線の整備に向けて準備している。
17	議会広報紙を見たところ、放置竹林対策として、竹炭や細工品、肥料やチップ化など地方創生を活用するとあったと思うが、どういうことか。	掲載されたものは、政務活動費を活用した調査報告について。議会としての意見でなく、議員活動の1つと考えていただきたい。	
18	議会報告会のあり方を考えてほしい。 行政が回答すべきものなのか、議会が回答すべきものなのかを選別し、行政が答えるべきものは町政座談会を開いてもらうなどしてほしい。	議会報告会の形を議論している。 皆さまの意見を町政に伝えていけるよう、どの形がいいかを今後も検討していく。	



質問する参加者（山間：上野保育園）

■ 議会報告会（上野保育園） B 班（参加者45人）

	質疑内容	議会回答（当日）	執行部回答
1	政務活動費を全議員利用して研修や調査を行っているのか。研修会等積極的に活用して議員活動を行ってほしい。また、活動費を利用して、町民との意見交換会等積極的に実施してほしい。	政務活動費は自己研鑽、資質向上が目的。去年は震災の影響であまり使えなかった。元東京消防長の高野先生の講演会をはじめ、視察研修や勉強に取り組んでいる。活動費の実績は1階ロビーの情報公開コーナーに開示している。	
2	テレビ報道等で議員の一人が義援金を集め、その用途問題が報道された。 真偽について議会として町民へ報告してほしい。うやむやにしないよう、はっきりしてほしい。	去年の議会報告会で質問があった。後日とりまとめを行い議会広報紙2月号に報告。その後説明不足として請求者より政治倫理審査会へ請求書が提出された。 4/7 政治倫理審査会へ請求書提出。 6/6 請求者へ調査結果回答書（写）送付。 内容としては、 ・ 3つの口座を開設。口座の中に直接被災者の支援に用いられた事実が認められない。疑念を払拭する書面による情報提供がなされなかった。「物品その他の財産上の利益の供与又は交付」は法を犯しているのではないかと政治倫理審査会から回答があった。	

	質疑内容	議会回答（当日）	執行部回答
2		今後、議会としては当該議員に説明を全員協議会で求めている。 7月末には政治倫理審査会から2回目の回答が出る予定なので、議会広報紙で今後回答する。	
3	平成31年4月に上野インター（仮称）が開通する予定だが、地域活性化のための具体策を示してほしい。	御船町には3つインターができるが町としての活用がなされていない。今後将来的な方向性を決めていかなければならない。 緑の村には新しく宿泊施設ができるが利活用が不透明である。地域のみなさんの意見を取り入れて協議しながら取り組んでいきたい。	（企画財政課） ※今後の計画 新たな人の流れを吉無田地域の観光客として取り込むため、地方創生関連事業に取り組んでいる。平成28年度に緑の村や化石発掘体験広場を整備し、平成29年度には化石発掘体験を軸に、宿泊施設等の整備を図る。地域への経済波及効果につなげ、地域の自主的かつ主体的な拠点づくりを行うこととしている。企業誘致については現在、具体的な案はない。復興計画にもうたっている拠点創出プロジェクトにおいて、インターチェンジ周辺の戦略的企業誘致を進めて行きたい。
4	H28. 4.19熊日に復興予算として御船町は8億、菊池市は5億円と掲載された。何に使ったのか、使った基金は国に申請してほしい。どのくらい町にかえてくるのか。	緊急対応で13億あった財政調整基金を取り崩して震災のための予算として支出した。議会としても国へ陳情要望活動を行った。 昨年12月には特別交付金約6億円、その他3億円交付された。現在財政調整基金は約8億6千万円積み戻した。今後も国への要望活動を続けていきたい。	（企画財政課） ※28年度末の状況 平成28年度末財政調整基金の残高は、8億6,263万8千円で平成27年度末残高12億6,596万3千円に対し、4億332万5千円の減額となった。これは熊本地震に係る補助対象外の経費等に充当したことによる減である。熊本地震関連経費については、できる限り財政支援をしていただくよう引き続き国に対し、要望していきたいと考えている。
5	緑の村に新しく宿泊施設ができると聞いたが、今後の管理の問題、また道路の改修問題がある。県には申請してあるのか。	ドームキャンピングが8棟、地方創生拠点整備事業を使い整備をする。1/2が国補助、1/2が町負担。今後の活用については議会でも危惧している。上野インター（仮称）から津ヶ峰までの県道が狭く、改修が必要であり、地元住民を通じて要望活動が必要であると思う。	（商工観光課） ※今後の計画 地方創生拠点整備事業の国の1/2の補助によりキャンプ場に新しくドームキャンピングとセンターハウスの整備を3月末完成に向けて建設を行い、今後の運営管理等についても既存の施設と併せ協議を行なっていく。 （建設課） ※今後の計画

	質疑内容	議会回答（当日）	執行部回答
			平成28年度において、県道益城矢部線（中原神社～歌野商店）の拡幅の要望を行っています。可否については未定ですが、今後も要望を続けて行く。
6	田代東部仮設団地を残してほしい。 町営住宅が山間にも必要。	町では21団地約420戸の仮設団地が整備されている。東部の仮設は13戸木造であり取り壊すのはもったいない。将来的には高齢者住宅につなげてほしい。要望調査を議員も行った。存続するよう議会としても求めている。	（企画財政課） ※現在の状況と見通し 山間地区において、災害公営住宅を山間地域に15戸建設予定である。田代東部仮設団地の活用については今後検討していきたい。 （建設課） ※現在の状況と見通し 田代東部仮設団地の存続については、災害公営住宅の建設及び田代東部仮設団地入居者の意向等を勘案のうえ、検討したいと考えている。 災害公営住宅の建設については、山間地域にも15戸を建設する計画である。 また、現時点において新規に山間部に町営住宅を整備する計画はない。
7	中原団地の問題については、住民から話が上がってきていると思うが、今後の再生についてたずねたい。町で対応できるのか。	町営住宅106戸、民家3戸、復旧する方針で調査を行う。復旧には今後どのくらいの期間と予算が必要なのか。現在の町営住宅は約440戸、郡内で一番多い。町営住宅は戦後、低所得者の住環境整備のため建設を行った。うち160戸経過年数を過ぎた築50年、60年の住宅である。現在仮設約420戸、復興住宅建設予定が100戸。今後の方針について復興計画の中で明確に示す必要がある。執行部に確認する。	（企画財政課） ※現在の状況と今後の計画 仮設住宅については、入居期間が2年間となっている。その後の仮設団地の利活用については、今後検討していく。 （建設課） ※現在の状況と今後の計画 中原団地の大規模盛土造成地滑動崩落防止事業については実施設計が8月中に完了する。その後、9月以降には工事の発注を行い、平成29年度末までには事業を完了する予定である。 中原団地町営住宅災害復旧工事については、8月末の国査定に向けた準備を急いでいるところである。 なお、中原団地入居者への説明会の開催に向けても、庁内関係各課との協議を進めているところである。

	質疑内容	議会回答（当日）	執行部回答
8	山間地では特に高齢化が進み、農道の境界について今後、わからなくなってくる。町から早く確認を行ってほしい。	熊本地震の影響で地籍調査が遅れている。すぐには難しい状況である。住民間での協議をお願いしたい。 現在地籍調査係では基準点の確認を行っている状況である。	（農業振興課） 山間地域においては、平成27年度に地籍調査事業の事前調査である山村境界基本調査（田代吉無田の一部）が国直轄で実施されている。 今後も計画の中に、山間地域を取り入れる予定であったが、熊本地震の影響により、計画に大幅な遅れが生じているため、山間地域の調査の目処が立たない状況である。 また、高齢化が進む中、早期に調査を実施しなければ「人証」が失われるという危惧が高まっているため、日頃から土地所有者により相互承認された事項について確認周知していただきたいと考えている。
9	復興住宅は100戸と聞いているが、北田代にもお願いしたい。高齢者には自力での再建は厳しい状況である。	執行部に回答をお願いする。	（建設課） ※今後の計画 災害公営住宅整備方針（案）の概要 ・全体供給戸数 100戸 ・供給地地域及び戸数 町内4地域に区分にて整備する計画である。（①御船・辺田見・滝川50戸、②木倉・高木20戸、③小坂・陣・豊秋15戸、④滝尾・水越・七滝・上野・田代15戸を計画している。） 国の直轄事業において、被災者を対象にした住居再建に関する意向調査を実施しており、そのなかで災害公営住宅への入居希望者数や建設希望地区等の意向を把握し、復興計画、まちづくり計画、将来的な公営住宅の総管理戸数等も踏まえて、必要供給戸数及び供給地区等の供給方針（案）を策定したところである。
10	マミコウロードについて、現在国道が不通のため、交通量が多い。国、県に改修をお願いしたい。 冬季になると竹の倒木も懸念される。事故が起きてからでは遅い。	445号線の復旧予定が一年遅れ、来年の4月開通予定である。古閑原の交差点の白線の引き直しは完了した。今後の整備については県へ要望していきたい。 マミコウロードは中山間整備事業で開通した農道である。今後執行部と協議していきたい。	（農業振興課） ※今後の対応 国道445号の迂回路区間（滝尾田迎～上野守護神社）の路面修復については、県土木部により、秋以降での修復計画となっている。広域農道の維持管理については、定期的に道路パト

	質疑内容	議会回答（当日）	執行部回答
			ロールを実施し、安全確保に努めていく。 また、広域農道法面の立竹木については、財政当局と協議しながら計画的に伐採を行い、事故防止に努めていく。
11	上野インター（仮称）の名称が決まったか？また、インター周辺の道路整備を行わないと、人の流れが中島インターへ行ってしまうことを心配している。	執行部に回答をお願いする。	（企画財政課） ※現在の状況と見通し 上野インター（仮称）の名称については、まだ決まっていない。町の意見として、「上野・吉無田高原インターチェンジ」の名称で熊本河川国道事務所に回答している。
12	上野インター（仮称）の取り付け道路について、現状復旧か買い入れと聞いていたが、どうなっているか。 また、工事のため大型車が利用している道路が沈んで側溝より低い。水や泥がたまり、困っている。	執行部に回答をお願いする。	（建設課） ※現在の状況と見通し 県道田代御船線の件であると考えられます。内容については、熊本県に対して現在調査中です。 側溝等の沈下に対して要望を挙げたいと考えている。
13	県道田代御船線、天君ダム入口上の道路が崩落していて危険である。 中学生が利用しているバスも通っており、早く復旧してほしい。	執行部に回答をお願いする。	（建設課） ※現況及び県の計画 当該箇所については、県道の路肩部を熊本県、法面部については、町道河地吐合線として御船町が災害復旧工事にて施工します。 現在、法面部（御船町）の工事を進めており、この工事が完了したい、熊本県の路肩工事に移っていく。
14	農業用施設復旧について、H30.3までとなっているが、業者等が見つからず厳しいので伸ばしてほしい。	当初 H29.3 までであったが、一年延びて H30.3 までとなった。国 5 割、県 2 割、町 2 割の補助で自己負担は 1 割である。現況についての調査が 2 ヶ月おきにあっているので農業振興課に相談してほしい。また、農地災害で申請漏れが起きている。本人は申請したのに町から連絡等がない場合は再度区長さん方に確認していただき、漏れがあった場合は早めに農業振興課へ伝えてほしい。	（農業振興課） ※事業の内容 この事業は、熊本地震により被害を受けた農業用施設及び農業用機械を復旧することにより、営農継続を支援することを目的としている。 事業完了については、H30年 3 月 31 日まで延期されたが、震災による請負業者の減少や資材・人手不足は解消されておらず、H29年度内の完了が厳しい状況となっている。 現在、国・県にも現状を報告し事業完了の延期について協議を重ねている状況である。 ※査定にもれた理由 （議会報告会 A 班 質疑内容 4 で回答）

復興に向けての要望活動

御船町議会



木原財務副大臣に意見書（写）を渡しました

9月7日、8月議会において可決した「自治法に基づく中長期的な人的支援に係る財政支援」などを盛り込んだ意見書の要望活動を展開した。午前中に議員第二会館にて、園田博之事務所及び坂本哲志事務所を訪問した。あいにく園田代議士は外遊のため不在ではあったが、坂本代議士とは、今回の要望における目的や現在の町の情勢など意見交換をすることができた。

また午後から、総務省黒田武一郎自治財政局長及び木原稔財務副大臣に要望活動を行った。

黒田局長におかれては、熊本県副知事や県総務部長を歴任、木原副大臣は衆議院熊本1区選挙区選出と熊本にゆかりのある方であり、当議会の要望に熱心に耳を傾けていただいた。

時間に限りがあり、すべてを伝えることは出来なかったが、町の現状を直接伝えることが出来ただけでも実のある活動であったと考える。



坂本代議士との意見交換



坂本代議士と黒田自治財政局長との意見交換

かがやく



ひと



陣 竹下 智さん

私たちの郷土 御船町で頑張ろう!!

御船町は自然と遺跡、歴史に富んだ町です。

偉人にも恵まれ五人の先哲と言われる人を生んでいます。

就中私財で八勢目鑑橋（県指定重要文化財）を始め多くの石橋架設に尽力した林田能寛、石橋の中でユニークなのは下鶴橋で欄干に盃などがあり、面白い話が聞けます。

先哲の一人、世界で初めて2層成砲を完成させた増永三左衛門。幕府や肥後藩の難事に貢献しました。今一人は宮部鼎蔵先生であり、松下村塾の吉田松陰の盟友、御船町南田代の生まれ、京都池田屋で殺されました。この事件で明治維新が1年遅れたと言われています。先日、元防衛大臣衆議院議員石破茂氏の講演が御船町役場でありました。話の中で町には誘致する場所も沢山あるのではないかと、特に強調されていたのは、商工会前に残る熊本県庁跡です。日

本広しと雖も二日間のみ県庁はここだけである。明治十年西南戦争の勝敗を決定づけた御船の激戦のあった妙見坂公園がある。

ここを攻撃した官軍の中に吉田松陰の弟子達、宮部鼎蔵を襲撃した新選組の隊士も入っています。これは歴史の皮肉さを垣間見る思いです。今も残る玉虫寺「源平盛衰記」などで有名な那須与一の射る矢の的の扇を持ったのが十七・八才美貌の女性こそ御船に生まれた玉虫前その人であったという。

約九千万年前の御船層より出土した日本で初めての哺乳類の化石が発見され話題を呼びそれらを展示する恐竜博物館も御船の誇る名所のひとつです。

自然豊かな御船に定住・誘致の取組も徐々に広がっています。

地震や雨なんかにも負けるもんか。町民一同頑張って行こうではありませんか!!

議会の予定 10月

- 1日 公立保育園運動会
- 2日 議会運営委員会
- 4日 議員研修会（県議長会主催）
- 6日 全員協議会
議員研修会（郡議長会主催）
- 7日 御船中学校運動会
- 12日 議会（予定）
- 19日 事務局職員研修会（県議長会主催）
- 26日 視察受入（三重県川越町）

編集後記

町が策定した復興計画にある「産業の発展」に関して、6月議会で一般質問を行った。

「産業の発展に向け、地理的優位性を活かして企業誘致の推進を図っていく」旨の答弁があった。

具体的には、町の都市計画や農業地域整備計画とも連動し、企業誘致に関する基本方針を定め、PJチームを中心としてインターチェンジによる土地利用や適地選定等戦略的に取り組んでいくこととしている。

昨年度1年間に、426名の方が町から転出される等、今人口が減少している状況にある。産業の発展が復興の原動力と

もなり、企業誘致の早期実現に向け、一議員として町の取り組みを後押し協力していくことしたい。
そして産業が発展し、将来に希望が持てる「夢が描ける町」を目指していきたい。

中城峯雄

議会広報編集特別委員会

発行責任者	田端 幸治
委員長	岩永 宏介
副委員長	中城 峯雄
委員	岩田 重成
委員	清水 聖
委員	田上 忍
委員	森田 優二